

平成24年度補正予算

一般会計
 国民健康保険特別会計
 介護保険特別会計(保険事業勘定)

9億9490万円
 2億3928万円
 1億5788万円

など

平成24年度一般会計と六つの特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ総額15億1472万1千円を追加するもので、すべての会計において原案どおり可決されました。

一般会計

主な質疑

問 計1000枚。ホームページ、広報などでデザインを募集し、最優秀作品1点、優秀作品2点を選定する。

問 施設整備費の工事内容は。

建設産業部長 駐車場内給水管の腐食に伴う給水管更新工事。

問 本来当初予算で組むべきではないか。

都市計画課長 この地区の測量は、田に水が入っているときできない。秋の収穫を待つて事業計画を進めることにより、国の補助などを受けられる。

賦課徴収費

(ご当地ナンバー)

問 具体的な内容は。

総務部長 サイズは縦10センチ、横20センチで従来のものより幅が3センチ大きくなる。作成予定枚数は50cc以下800枚、90cc以下100枚、125cc以下100枚

問 交換手数料は。
 税務課長 無料。

七宝産業会館 費

問 修繕の内容は。

建設産業部長 玄関エントランス柱表面が老朽化により、はがれたことに伴う修繕。

土地区画整理 事業費

問 計画面積は。

建設産業部長 七宝町秋竹の三角、柏田地区において計画面積約2ヘクタール。

採決結果

全員賛成により、原案どおり可決。

七宝産業会館



土地取得 特別会計

主な質疑

土地開発基金 積立金

問 積立金での土地の購入予定は。
総務部長 今回の措置は、土地取得特別会計を通じて、基金から一般会計へ土地を売り払い、売り払った土地の代金を基金に戻す経理上の措置のため、新たに土地を購入するためには積み立てを行うものではない。今回の価格は、昭和61年に先行取得した、あま市七宝町遠島鳥居先の土地、487平方メートル分。

採決結果
全員賛成により、原案どおり可決。

介護保険 特別会計

主な質疑

前年度繰越金

問 多額の繰越金の理由は。
高齢福祉課長 介護給付費の伸びが予想より少なかった。

介護給付費 準備基金積立金

問 これほど多額に積み立てられるのなら、保険料の値上げは不要なのでは。
高齢福祉課長 今後、特別養護老人ホームおよびグループホームの開設を計画している。さらに団塊世代の方が高齢化し、現状のままでは給付費が次第に膨れ上がっていく、保険料を引き上げる時期が遠からず来ると思われる。その時期を

採決結果

全員賛成により、原案どおり可決。

るだけ先送りするために、基金を積み上げさせていたきたい。

後期高齢者 医療特別会計

広域連合納付金

問 なぜこの時期に発生するのか。
保険医療課長 広域連合の決算が終わり、出納整理期間もすべて終わってからのことになると、9月議会にしか出せない。

討議(要旨)

平成23年度 決算審査意見書

代表監査委員が報告

監査委員による一般会計・特別会計の決算審査は、6月7日から7月25日まで行われました。本会議で報告された審査意見書のうち、一般会計の内容を要約してお知らせします。

【反対討論】
松下昭憲 後期高齢者医療制度に初めから全面的に反対しているため、反対する。

採決結果

賛成多数により、原案どおり可決。

加が要因と考えられる。これらの要因を考慮したうえで、今後も事務の改善および事業内容をより一層精査し、市民の信頼に応える財政運営を図りたい。

平成23年度は、予備費の充用が行われ、充用先は消防費および教育費となっている。中でも消防費については、東日本大震災被災地への職員派遣に係る費用となっている。

近隣市町村に限らず、広域でも協力関係を築けるよう積極的に取り組み、災害に強いあま市のまちづくりを要望する。

歳入決算額については、景気の低迷により厳しい財政運営の中、市税収納率の向上が見られる。これは、日々の徴収努力および愛知県西尾張地方税滞納整理機構への参加による一定の成果と考えられる。

平成24年度からコンビニ二エンスストア収納が開

諸支出金については、病院事業会計支出金の増